



そめものやってみよう！

2組は、染め物に挑戦しています。朝顔でいろ水やたたき染めをしていた時、他の植物など自然のもので染められることを知ったことがスタートでした。図書館で染め物の本を見つけたAさんは、2組で育てていたマリーゴールドも染め物ができると知りました。その本をよく読んでいくと、たまねぎの皮でも染められることが書かれていました。Aさんは、みんなに「染め物してみたいんだけど。でもマリーを最初に使ってうまくいかなかったらこまるから、たまねぎの皮で練習してみたいって思う。」と伝えました。おもしろそうと思ったのか、子どもたちは、賛成し、そこから、こつこつたまねぎの皮を集め始めました。

冬休みが明けたとき、「こんなの見つけた！」とBさんが持ってきたのは、たまねぎの皮染めの本のコピーでした。よし、たまねぎの皮もたくさんたまったら、やってみよう！と、もう一度、みんなで染め物の本を読みながら手順を確認して、やってみることにしたのです。

よし、やってみよう！

豆乳で下地をつけると、色が付きやすいことを知って、豆乳の中に生地を入れ、揉んで浸しました。乾かした後は、模様をつけるための絞りを入れました。

さあ、いよいよ染液を作って、染めていきます。「待つ時間」がいっぱいあった染液づくり。でも、興味深々で見つめている姿がありました。



最初は、透明だった水が、少しずつ少しずつ色が付き、変わっていくのをじっと見つめ「夕焼けの色じゃない？」「ホットケーキみたいな色してきたよ」「おいしそうにおいがしてきた！」とその色やにおいを味わっている姿がありました。透明なケースに染液を入れて、色

の変化をまるで実験するかのように、確かめている子たちもいました。さて、染液ができたので、今度は、その染液につけて、染めていきます。



できた染液は、オレンジから赤色ぐらいの色でした。でも、ミョウバンを溶かした媒染液につけたとたんに、黄色っぽく色が変わっていきます。振り返りをしたときにも、この時のことが印象的だったようで、Cさんは「色が変わったのがビックリした！」「色とミョウバンのなかよしパワーでかわったんじゃないかな？」と話しました。



ひらいてみたら、ちょうど絞りが、お花が咲いたように見えました。みんなのランチマットを並べてかざったら、「お花畑の中にいるみたい！」とニコニコした顔でDさんは話しました。もっと染めてみたい。今度はマリーを使って。他にも染められるものがあるのかな？染めもののうたもつくりたい！と、実際にやってみたことを通して、広がっていきそうです。今度は、マリーでの染めものの準備をしています。自分たちでできることが分かって、張り切っています。